

地域計画

策定年月日	令和7年3月 日
更新年月日	()
目標年度	令和16年
市町村名 (市町村コード)	鏡野町 336033
地域名 (地域内農業集落名)	富地区 (余川以北、篠坂、大倉、大、楠、兼秀、清水、宮原白賀、馬場以北、山口重定、大原、富仲間)

注:「地域名」欄には、協議の場が設けられた区域を記載し、農林業センサスの農業集落名を記載してください。

1 地域における農業の将来の在り方

(1) 地域計画の区域の状況

区域内の農用地等面積(農業上の利用が行われる農用地等の区域)	190 ha
① 農業振興地域のうち農用地区域内の農地面積	ha
② 田の面積	159 ha
③ 畑の面積(果樹、茶等を含む)	31 ha
④ 区域内において、規模縮小などの意向のある農地面積の合計	ha
⑤ 区域内において、今後農業を担う者が引き受ける意向のある農地面積の合計	ha
(参考)区域内における〇才以上の農業者の農地面積の合計	ha
うち後継者不在の農業者の農地面積の合計	ha
(備考)	

注1:①については、農業振興地域担当部局と調整の上、記載してください。

2:②及び③については、農業委員会の農地台帳の面積(現況地目)に基づき記載してください。

3:④については、規模縮小又は離農の意向のある農地面積を記載してください。

4:⑤については、区域内に特定することができない場合には、引き受ける意向のあるすべての農地面積を記載の上、備考欄にその旨記載してください。

5:(参考)の区域内における〇才以上の農業者の農地面積等については、できる限り記載するように努めてください。

6:「区域内の農用地等面積」に遊休農地が含まれている場合には、備考欄にその面積を記載してください。

(2) 地域農業の現状及び課題

農業者の高齢化が進み、10年後を見据える中で後継者不足や遊休農地の更なる加速が課題である。今後中心経営体が引き受ける意向のある耕作面積よりも、80才以上で後継者未定の農業者の耕作面積の方が、富西谷集落では1ha、富東谷集落では4ha、富仲間集落では3ha、大集落では3ha多く、新たな農地の受け手の確保が必要。

(3) 地域における農業の将来の在り方(作物の生産や栽培方法については、必須記載事項)

水稻が中心。中心経営体である認定農業者法人と認定農業者を中心に担っていく。平地部においては、入作を希望する認定農業者や認定新規就農者の受入れを促進することにより対応していく。谷あいや山間部においては、地元関係者を中心に農地を維持していく。また、後継者の育成を行う。

2 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用に関する目標

(1) 農用地の効率的かつ総合的な利用に関する方針			
離農や規模縮小する農家に対し、地域内の担い手に貸付けを優先的に行うよう周知を図る。			
(2) 担い手(効率的かつ安定的な経営を営む者)に対する農用地の集積に関する目標			
現状の集積率	25	%	将来の目標とする集積率
			25 %
(3) 農用地の集団化(集約化)に関する目標			

農地を手放す農家がいた場合は、隣接する担い手に貸し付けを行い、集団化を進めて行く。

3 農業者及び区域内の関係者が2の目標を達成するためとるべき必要な措置

(1)農用地の集積、集団化の取組
規模拡大意向の担い手農家に農地を集積していく。
(2)農地中間管理機構の活用方法
利用権設定されている農地の期間満了後に農地中間管理機構に付け替える。
(3)基盤整備事業への取組
概ね基盤整備が完了している。
(4)多様な経営体の確保・育成の取組
地域の農地については、地域で守っていくことを基本とし、若い担い手農家・規模拡大意向農家等が円滑な経営継続ができるよう地域一体となって取り組む。
(5)農業協同組合等の農業支援サービス事業者等への農作業委託の取組
現状農経営を維持する上で、農作業受委託に取り組んでいく。

以下任意記載事項(地域の実情に応じて、必要な事項を選択し、取組内容を記載してください)									
☒ ①鳥獣被害防止対策	☐ ②有機・減農薬・減肥料	☒ ③スマート農業	☐ ④畑地化・輸出等	☐ ⑤果樹等					
☐ ⑥燃料・資源作物等	☐ ⑦保全・管理等	☐ ⑧農業用施設	☐ ⑨耕畜連携等	☐ ⑩その他					
【選択した上記の取組内容】									
①鳥獣被害防止柵の設置を検討する。									
③営農に必要なスマート農機の導入を進める。									

4 地域内の農業を担う者一覧(目標地図に位置付ける者)

属性	農業を担う者 (氏名・名称)	現状			10年後 (目標年度:令和 年度)				
		経営作目等	経営面積	作業受託面積	経営作目等	経営面積	作業受託面積	目標地図上の表示	備考
認農		水稻、肉用牛、しいたけ	5 ha	ha	水稻、肉用牛、しいたけ	5 ha	ha	162	
認農		水稻、肉用牛	4 ha	ha	水稻、肉用牛	4 ha	ha	163	
認農		水稻	2 ha	ha	水稻	2 ha	ha	164	
認農		水稻、大豆、ぶどう	4 ha	ha	水稻、大豆、ぶどう	4 ha	ha	165	
集		水稻	× ha	ha	水稻	× ha	ha	166	
認農		水稻、肉用牛、しいたけ	1 ha	ha	水稻、肉用牛、しいたけ	1 ha	ha	167	
		しいたけ、あまご養殖	0.4 ha	ha	しいたけ、あまご養殖	0.4 ha	ha	168	
認農		花卉	0.8 ha	ha	花卉	0.8 ha	ha	169	
		水稻	2 ha	ha	水稻	2 ha	ha	170	
		水稻	0.9 ha	ha	水稻	0.9 ha	ha	171	
		水稻	0.2 ha	ha	水稻	0.2 ha	ha	172	
		水稻	0.5 ha	ha	水稻	0.5 ha	ha	173	
		水稻、畜産、飼料作物	0.8 ha	ha	水稻、畜産、飼料作物	0.8 ha	ha	174	
認就		野菜	0.3 ha	ha	野菜	0.3 ha	ha	175	
認農法		水稻、飼料作物、そば大豆他	26 ha	ha	水稻、飼料作物、そば大豆他	26 ha	ha	176	
計			47.9 ha	0 ha		47.9 ha	0 ha		

-
- 注1:「属性」欄には、認定農業は「認農」、認定新規就農者は「認就」、法人化を行うことが確実であると市町村が判断する集落営農は「集」、基本構想水準到達者は「到達」、農業協同組合は「農協」、農業支援サービス事業者(農協を除く)は「サ」、上記に該当しない農用地等を継続的に利用する者は「利用者」の属性を記載してください。
- 2:「経営面積」「作業受託面積」欄には、地域計画の対象地域内における農業を担う者の経営面積、作業受託面積を記載してください。
- 3:農業を担う者に位置付ける場合は、できる限りその者から同意を得ていること。
- 4:作業受託面積には、基幹3作業の実面積を記載してください。なお特定農作業受託面積は、作業受託面積に含めず、経営面積に含めてください。
- 5:備考欄には、農業を担う者として位置付けられた者に不測の事態に備えて、代わりに利用する者を記載するよう努めてください。

5 農業支援サービス事業者一覧(任意記載事項)

番号	事業体名 (氏名・名称)	作業内容	対象品目

6 目標地図(別添のとおり)

7 基盤法第22条の3(地域計画に係る提案の特例)を活用する場合には、以下を記載してください。

農用地所有者等数(人)		うち計画同意者数(人・%)	
-------------	--	---------------	--

注1:「農用地所有者等」欄には、区域内の農用地等の所有者、賃借人等の使用収益権者の数を記載してください。

注2:「うち計画同意者数」欄には、同意者数を記載してください。

注3:提案する地区の対象となる範囲を目標地図に明記してください。

(留意事項)

農業を担う者を位置付ける際、これらの者の氏名が含まれた地域計画について、法令に基づく手続として、本人の同意なく、関係者の意見聴取や、地域計画の案の縦覧、地域計画の公告を行うことができますが、個人情報保有に当たっては、利用目的をできる限り特定し、本人から直接書面に記録された個人情報を取得するときは、あらかじめ、本人に対し、その利用目的を明示してください。

また、市町村の公報への掲載等とは別に、インターネットの利用により関係者以外の不特定多数に対して情報を提供する場合は、氏名を削除するなど配慮してください。

必要に応じて区域内の農用地の一覧を参考として添付してください。